

近隣の自然の変化に目を向ける 番外編

「大賀ハスとサギ草： Ohga Ancient Lotus & White Egret Flower」

2021年7月18日

梅雨明けの朝、大賀・古代ハスと2年ぶりに再会した。しかも、4輪が咲いたばかりで初々しく、その背後に咲き終えて実の頭が立っていて、ベストチャンスに恵まれた、と感激！昨年はチャンスを逃していたので、今年こそと念じながら近くの東覚院の境内を訪れたのだ。その5日前に下見をした時には、一輪の花が全開前で、桃太郎が産まれて出て来そうな姿であった。

この蓮は、有名な大賀ハスで、すぐ脇に立っていた看板に記されている通り、絶滅したと思われた蓮の実が1951年に3粒見つかり、その中の1粒を大賀博士が開花に成功、全国に株分けされたものの一つである。私は、2014年にミャンマーはヤンゴンの日本人墓地で大賀ハスを見て感動したことを思いだした。

サギ草（鷺草）は、七夕の日、世田ヶ谷の粕谷区民センターに区民が育て展示されていたもの。区の花として知られており、育て方の講習会が開かれている。正に鷺が青空を羽根を広げ、群れをなして飛んでいるかのような花で、一度見たら忘れられない。実は、野生蘭の一種。

（この日は、2度目のワクチン接種で区民センターに行った時で、出遭えた感激で接種の副作用の心配は、空の上に飛び去っていた。）